

平成 30 年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和元年 7 月 16 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 杉田 政夫

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (<u>学術出版</u> ・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事業名	コミュニティ音楽療法への招待
事業実施期間	平成 30 年 4 月 ～ 令和元年 6 月
成果の概要	<p>学術出版助成を受け、風間書房より 2019 年 6 月 28 日にブリュンユルフ・スティーゲ、レイフ・エドヴァルド・オーロ著、杉田政夫監訳、伊藤孝子、青木真理、谷雅泰、菅田文子訳『コミュニティ音楽療法への招待』(全 506 頁)を刊行した。本書の構成は、以下の通りである。</p> <p>日本語版への序文、序論、謝辞</p> <p>第 1 部 イントロダクション</p> <p>第 1 章 概要</p> <p>第 2 章 歴史</p> <p>第 2 部 基礎的概念</p> <p>第 3 章 健康とウェルビーイング</p> <p>第 4 章 コミュニティと社会的リソース</p> <p>第 5 章 音楽、健康、コミュニティ</p> <p>第 3 部 実践</p> <p>第 6 章 課題</p> <p>第 7 章 価値</p> <p>第 8 章 プロセス</p> <p>第 4 部 研究と専門職</p> <p>第 9 章 研究の目的と実践</p> <p>第 10 章 参加型実践の専門職化</p> <p>フォトクレジット、訳者あとがき、参考文献、人名索引</p> <p>同訳書刊行は、第 1 筆者であるコミュニティ音楽療法の国際的リーダー、スティーゲ氏の全面的協力のもと、実現することができた。ベルゲン大学グリーグアカデミー音楽療法研究所での打ち合わせを重ね、また本書と密接に関わる実践現場の参与観察を数多くコーディネート下さった。世界中の豊富な事例(コラム)を交え、コミュニティ音楽療法の理論と実践、研究、専門職、及びそれを支える社会正義や民主的プロセス、平等、敬意、人権といった諸価値が仔細に論究されており、日本における同音楽療法の理解と普及を着実に推し進めることになると確信している。</p>